

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和02年12月15日

計画の名称	21 快適に利用できるサイクリング環境の創出（防災・安全）【重点】												
計画の期間	令和03年度～令和07年度（5年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	神奈川県												
計画の目標	・「神奈川県自転車活用推進計画」に基づく県内の連続したサイクリング環境整備を実施する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	1,000	A	1,000	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
1	「神奈川県自転車活用推進計画」に位置付けられた路線において、自転車走行空間整備を実施した割合の向上 自転車走行空間整備完了延長 / 自転車走行空間整備計画延長 × 100%	R3 49%	R7 %	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	-	避難行動要支援者名簿の提供	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---	---------------	---

A 基幹事業

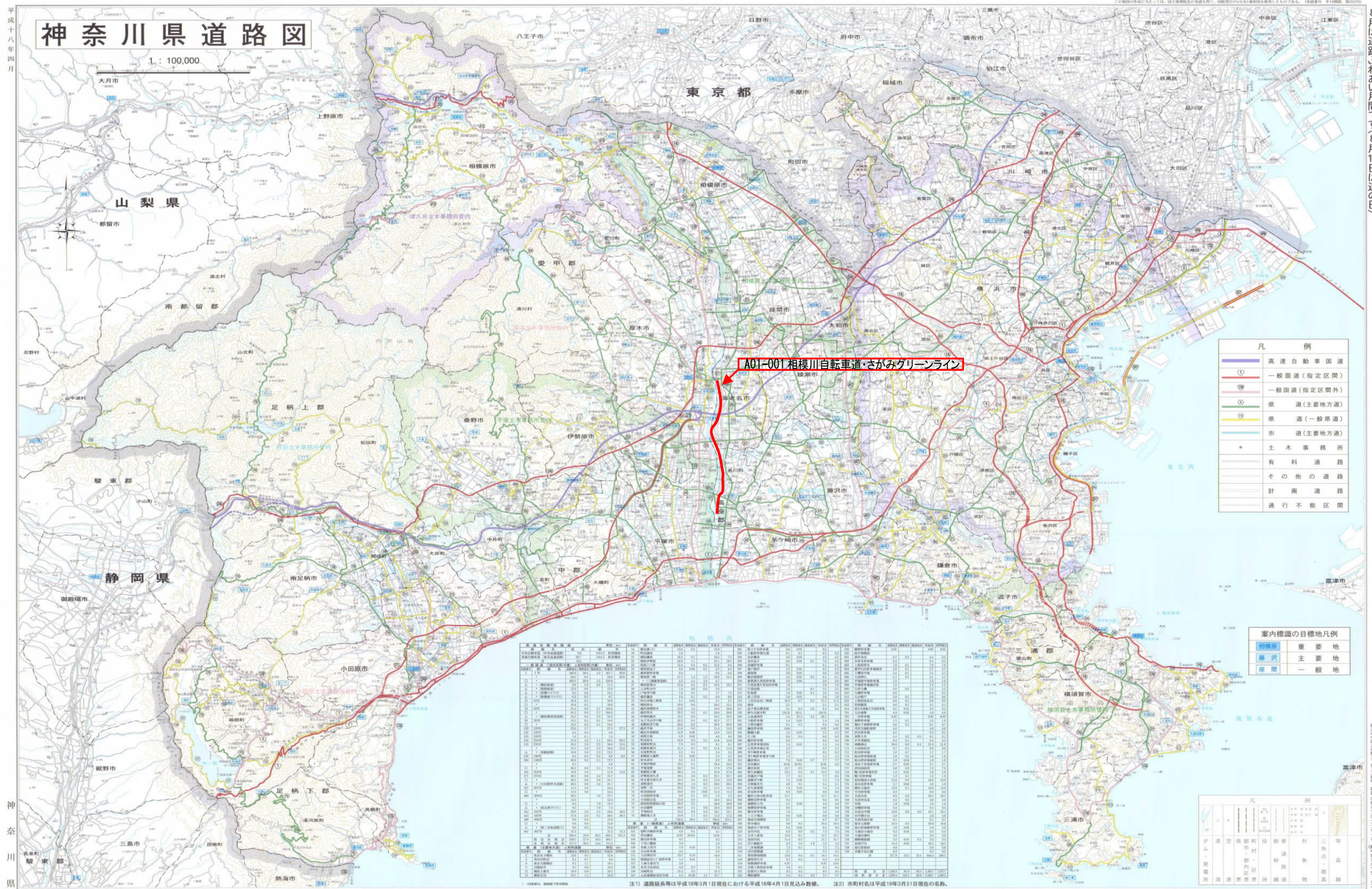
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R03	R04	R05	R06	R07			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-001	道路	一般	神奈川県	直接	神奈川県	都道府 県道	交安	(一)相模川自転車道・ さがみグリーンライン	自転車走行空間整備 L=10.0 km	海老名市 寒川 町						1,000	-	
											小計						1,000		
											合計						1,000		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R03	R04	R05		
配分額 (a)	24	49	27		
計画別流用増 減額 (b)	0	0	0		
交付額 (c=a+b)	24	49	27		
前年度からの繰越額 (d)	0	19	46		
支払済額 (e)	5	22	70		
翌年度繰越額 (f)	19	46	3		
うち未契約繰越額(g)	13	11	3		
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0		
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	54.16	16.17	4.1		
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	工事において、地元調整に時間を要したため。	委託において、関係機関調整に時間を要したため。			

計画の名称	21 快適に利用できるサイクリング環境の創出（防災・安全）【重点】	交付団体	神奈川県
計画の期間	令和3年度～令和7年度（5年間）		



事前評価チェックシート

計画の名称： 21 快適に利用できるサイクリング環境の創出（防災・安全）【重点】

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画等との整合性	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 課題を踏まえた目標を設定し、課題への対応方針が妥当である。	○
II. 計画の効果・効率性 整備計画の目標と定量的指標の整合性	○
II. 計画の効果・効率性 定量的指標の明瞭性	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 事業規模、施設諸元が適切であり事業実施により十分な効果が発揮される。	○
III. 計画の実現可能性 地元の機運 1) 多様な主体との連携が図られている。	○
III. 計画の実現可能性 地元の機運 2) 地元や地元市町との調整が図られている。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 1) 住民等の合意形成が整っている。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 2) 事業計画のスケジュールは妥当なものとなっている。	○